事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報						令和	4	年度
事業番号	820)	事業名 情報通信基盤整備事業		業			
担当課	企画課	担当係		情報政策係	担当者	小早川 誠		
公人社画に見ま	施策	3	安心安全な暮らしづくり			連絡先	0858-76-0212	
総合計画に最も 関連ある施策	施策体系	1	地域情報化の促進			事業区分	□新規	
対定の心心水	主な事業	光ケー	光ケーブル網整備事業			尹未匹刀	■継続	
	款	2	総務費			事業実施	■八頭町	
予算区分	項	1	総務管理費			主体	□その他	
了开口刀	目	17	情報政策事業費		計画期間	開始	平成22年度	
	事業	820	情報通信	基盤整備事業	ŧ	可凹翅间	終了	

2 事務事業の概要

<u> </u>									
	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。								
事業の対象	町民								
	隹(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。								
事業の目的	光ケーブル網を活用し、町民に行政情報の提供を行うと同時に危機管理の情報受発信を行い、安心安全な社会を目指す。								
東業の中容.	事業の規模や業務量など・どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。								
事業の内容・ 手段	光ケーブルの引き込み・移設工事及び保守管理、民間事業者と提携した光インターネットサービスの提供 八頭町ケーブルテレビコミュニティチャンネルによる情報発信、ケーブルテレビサービスの運営支援								
事業の成果	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。								
到達点	光ケーブル網の保守管理を行うとともに、通信・放送サービス加入者の増加を図ることにより、幅広く情報発信を行う。								
根拠法令等	5 1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし 法令等名→								

3 活動指標、成果指標

	グイリロリホ		
		単位	事業の手段を図るものさし
	Α	件	目標: 2,300件 ケーブルテレビ加入件数
活動指標	В	件	目標:3,400件 光インターネット加入件数
	С		
	D		
		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	Α	%	ケーブルテレビ加入率
成果指標	В	%	光インターネットサービス加入率
	С		
	D		

4 コスト

4 1/7										
区分			R1年度	R2年度	R3年度		R4年度		R5年度	
	区刀		単位	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
		Α	件	2,159	2,225	2,200	2,297	2,300	2,330	2,350
	活動指標	В	件	3,170	3,276	3,000	3,376	3,400	3,538	3,450
		С								
		D								
		Α	%	36.0	38.0	39.0	38.8	39.5	39.0	40.2
	成果指標	В	%	52.8	56.1	57.1	57.0	58.2	59.3	59.1
		С								
		D								
 -	トータルコスト		千円	78,541	77,997	184,969	128,947	146,281	144,758	155,764
担	担当職員数		人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
職	職員人件費		千円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
事	事業費		千円	70,541	69,997	176,969	120,947	138,281	136,758	147,764
事	国庫支出金(交	付金•補助金)	千円							
業費	県支出金(交付	金•補助金)	千円				140	140	140	140
財	地方債(借入金)	千円				20,800	48,900	70,600	60,300
源内	事業収入(使用	料·参加費等)	千円	30,732	33,916	83,931	33,644	32,567	35,039	35,743
	訳 一般財源(単町費)		千円	39,809	36,081	93,038	66,363	56,674	30,979	51,581

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

実施活動内容(具体的に)

・光ケーブル網の適切な保守管理及び新規加入者の対応を行い、光ケーブルを利用してのサービス利用者の増加を図った。これにより、町民の通信・情報環境の充実に繋げた。

令和

年度

4

・ケーブルテレビにより、難視聴地域のテレビ受信環境を整え、町内における情報格差解消を図った。

・自主放送チャンネルにおいて、町政広報番組などを新たに制作し、適時情報発信を行なった。

実施活動内容• 成果(到達点)

・光ケーブルを利用したサービス(インターネット、ケーブルテレビ)の利用者増加を図った。ケーブルテレビについては、新築 キャンペーンを継続して実施し、新規の顧客増加へと繋げた。 ・光ケーブル伝送路について、新たな宅地造成エリア等への拡充を行なった。これにより、新規住宅への引き込みに支障をき

たすことなく実施し、利用者のスムーズなサービス加入となった。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)			
必要性	20	20	①必要性が高い	・情報化社会において、各種サービスを利用するための			
		13	②どちらかと言えば必要性がある	高速通信環境の整備は必須である。また、難視聴エリア の解消も情報格差解消のため必須である。			
(町民ニーズ)		7	③必要性が低い	OTHER OTHER DESIGNATION OF THE SECOND OF THE			
		0	④必要性がない				
22.77.MF		20	①町が行わないといけない	・民間による早期の光ケーブル網整備が期待できなく、			
妥当性 (町が行わなけ	20	13	②どちらかと言えば町が実施	町によって整備したため、妥当と考える。 			
ればならないか)	20	7	③妥当性が低い				
4010000000000		0	④妥当性がない				
차 · 호 사	13	20	①効率的である	・ケーブルテレビの番組制作にあたっては、迅速に、か			
効率性 (コスト削減の余 地は無いか)		13	②どちらかと言えば効率的である	つ、多くの情報を提供するとともに、経費削減にも努めている。			
		7	③どちらかと言えば非効率的である				
		0	④非効率的である				
緊急性	13	20	①緊急性が高い	・町内の情報通信環境は、現代の情報化社会において 必須であるため、継続して安定したサービス利用環境の			
(他事業に優先し		13	②比較的緊急性がある	必須 とめるため、極視して女 足したり 一とへ利用環境の 提供が必須である。			
実施する必要が		7	③緊急性が低い				
あるか)		0	④緊急性がない				
成 果 (目的の達成状		20	①成果が上がっている	▼・光インターネット、光電話の加入は目標を上回る水準で 「普及を進めている。ケーブルテレビの加入については、			
	13	13	②どちらかと言えば上がっている	もめと進めている。ケーブルケレビの加入については、 やや目標を下回っているが、加入キャンペーンの実施や			
況)		7	③どちらかと言えば上がっていない	魅力的な番組制作により、加入率の増加につながってい			
		0	④成果が上がっていない	[ప్			
合 計	79						

7 町の方向性・方針

事業の方	向性	問題点及び今後の課題・方向性
1 拡充する		(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所)
2 改善・効率化 し継続		・新築世帯には若者世帯向けのホームページを活用、既存住宅の未加入世帯には広報やず等の 紙媒体を活用するなど、加入促進に向け手法を検討し、引き続きケーブルテレビの加入世帯の増 加を図るとともに、八頭町情報の普及啓発を促進する必要がある。
3 現状維持		
4 見直しの上 縮小する	3	(上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか)
5 終期設定し 終了		・八頭町コミュニティ番組の充実を図ることと併せ、ケーブルテレビの新規加入キャンペーンの周知 やケーブルテレビによるテレビ視聴のメリットを説明することにより、加入率の向上を図る。
6 廃止		